

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	Zin Min Htwe		
カナ又は漢字氏名	ゼインミントウエー		
2.出身国又は地域	ミャンマー		
3.学年	3年		
4.学校名	静岡産業大学		
5.学種	大学学部		写真 タイトル 地域の祭りにて
6.所属研究科・学部等名	経営学部・経営学科		
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月		
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>私は高校生まで留学について考えたことはありませんでした。しかし、ミャンマーでは高校の成績によって進学先や専攻が決められる仕組みがあります。高校時代の成績があまり良くなかったことをきっかけに、自分の将来について深く考えるようになりました。その過程で、自分の可能性を広げるために新しい環境で学ぶことの重要性を感じ、留学を選択肢の一つとして考え始めました。その際、日本がアジアの中でも高い教育水準を持つ国であり、実践的な知識やスキルを学べる環境が整っていることを知り、日本への留学を決意しました。また、日本語や日本文化に対する関心も深く、そうした興味が私の決意をさらに後押し日本留学を目指す中で、私はミャンマー国内の大学に進学し、化学を専攻して2年間勉強しました。大学生活では専攻の学びに加え、日本語を習得するために日本語の塾にも通い始めました。特に、大学2年生の頃には、大学での勉強と日本語学習を両立させる努力を続けました。その結果、日本語能力試験の準備を進めることができ、日本留学への基盤を築くことができました。</p>			
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>私の留学の目標は、専門知識を身につけ将来のキャリア形成に役立てること、日本語能力を向上させること、そして異文化交流を通じて視野を広げることです。現在、経営学を学びながら簿記2級の取得を目指し、実践的なスキルを身につけています。また、日本語能力試験N1合格後も勉強を続け、専門的な日本語力を磨いています。さらに、国際交流クラブの活動を通じ、多国籍の人々との交流やリーダーシップを培うことができました。これからも引き続き目標達成に向けて努力していきます。</p>			

(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。

私は静岡産業大学経営学部で、経営学の基礎から応用まで幅広く学んでいます。特に「マーケティング論」や「NPO論」「地域観光マーケティング論」などの授業を通じて、理論だけでなく実践的な知識も身につけています。また、「キャリアデザイン演習」では、将来の目標を具体化し、必要なスキルを考える機会を得ました。学習環境は整備されており、少人数制の授業が多いため、先生からの丁寧な指導を受けながら学ぶことができます。さらに、日本人学生や他の留学生との交流の場も多く、意見交換を通じて視野を広げることができています。成績は全体的に良好で、「マーケティング論」「NPO論」「財務会計論」などの専門科目ではSやA評価を多く取得しています。また、語学科目では日本語能力試験N1合格後も、ビジネス日本語や英語、中国語の勉強を継続し、語学力の向上にも力を入れています。これらの学びを通じて、将来に向けたスキルや知識を着実に積み重ねています。

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

私は日本の文化や言語に触れる中で、国際交流会や地域イベントを通じて多くの経験をしました。特に大学祭の国際交流会では、日本人学生と協力してイベントを企画し、異文化理解や意見交換の大切さを学びました。

また、藤枝市の国際交流会ではスピーチを通して日本での留学経験やミャンマーの文化を伝え、地域の方々との温かい交流を経験しました。この活動を通じて、自分の文化を伝える責任感や自信を得ることができました。

さらに、日本語学習では「空気を読む」といった日本特有のコミュニケーションを理解し、相手を思いやる行動を身につけることができました。これらの経験を通じて、異文化理解力やコミュニケーション能力が向上したと感じています。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本への留学は、私のキャリア形成において大きな影響を与えています。特に、日本での学びや経験は、将来国際的な環境で活躍するための基盤を築くものだと考えています。

まず、日本での大学生活や国際交流会での活動を通じて、異文化理解力や協調性が身につきました。これらは多文化環境で働く上で重要なスキルです。また、日本語能力を高めると同時に、ビジネスに必要な知識やスキルも学んでおり、これらを活かして、将来は日本企業や日本と関係の深い企業で働きたいと考えています。

さらに、日本での留学経験を通じて、課題に対する柔軟な対応力や責任感が養われました。これらは、将来の仕事においてリーダーシップを発揮する際に役立つと信じています。最終的には、ミャンマーと日本の架け橋として、両国の経済や文化交流に貢献できるキャリアを目指したいと考えています。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

日本の就職活動では、企業研究や自己分析が非常に重視されることに驚きました。エントリーシートの提出や面接に向けて、自分の強みや経験を具体的に言葉にすることが求められます。また、「なぜこの企業を志望するのか」「自分がどのように貢献できるのか」を明確に伝える必要がありました。こうしたプロセスは母国ではあまり見られないものであり、自分を客観的に見つめ直す良い機会となりました。進学に関しては、日本では出願時に提出する志望理由書や面接の準備が重要だと感じました。進学先で学びたいことや将来の目標を具体的に示すことが求められる点が特徴的でした。一方で、母国では学業成績が最も重要視される傾向があり、個人の目標や意欲について深く問われることは少ないです。

これらの経験を通じて、日本では個人の考えやビジョンが重視されることを実感しました。これにより、自分の目標や強みをより深く理解できるようになり、将来に向けての自信もつきました。同時に、異なる文化や価値観を理解し、柔軟に対応する力も身につけることができました。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本への留学を考えている皆さんへ。留学は新しい環境で自分を成長させる素晴らしい機会です。日本は、質の高い教育を受けられるだけでなく、豊かな文化や伝統に触れられる国です。最初は言語や文化の違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、それを乗り越えた先には、多くの貴重な経験や出会いが待っています。

留学中は、自分の目標を明確に持ちながら、積極的に挑戦することが大切です。勉強だけでなく、地元のイベントやクラブ活動にも参加してみてください。新しい視点や人とのつながりが、あなたの可能性を広げてくれるはずです。

また、困ったときには周囲の人に相談することを恐れなくてください。日本人々は親切で、きっと手を差し伸べてくれるでしょう。留学は、自分自身を知り、新しいスキルや価値観を身につける大きな一歩です。ぜひ勇気を持って挑戦してください。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	ZHANG ZHIMIAO	非公開
カナ又は漢字氏名	張 志淼	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4年	
4.学校名	大阪経済大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	情報社会学部	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>高校生のとき、日本語の勉強を始めました。その時の日本語の先生は日本に留学した経験があり、その経験や留学中の面白い話をたくさん教えてくれました。それを聞いて、ぜひ日本へ留学しようと決心しました。高校では日本語の言葉や文法を学び、卒業後には聴解や会話の練習をしました。ビザ申請の間に、私はN3の資格を取得しました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>私は日本に移住するために、日本に留学しました。現在、内定をもらい、就職活動が終わりました。これからも職場で自分の能力を発揮し、会社に貢献したいと思っています。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>大阪経済大学大隅キャンパスは大阪市東淀川区にあり、都市的な環境と緑豊かな環境が共存しています。私は情報社会学部情報社会学科の学生で、特に現代社会コースを勉強しています。現代社会コースでは、優や良の評価を多くもらっています。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験(日本人学生や地域の人との交流など)と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

2回生の5月、大学の国際交流課が主催するイベントで、留学生による中国語講座の講師に応募しました。私の授業のテーマは「霸王別姫」で、これは中国の歴史上の事件である楚漢戦争(項羽と劉邦の戦い)から生まれた物語です。この物語は現代では京劇として知られています。私は京劇のセリフを日本語に翻訳して説明しました。このイベントの受講生は81名に達し、大学のホームページのニュースにも掲載されました。この講座を通じて、学生同士の交流が促進されたと感じています。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路(キャリア)へどのような影響を与えるか教えてください。

高校卒業後、日本へ留学しようと決めました。元々は中国の大学に進学し、その後中国の会社で働く予定でしたが、親から「日本語もできるのに、このまま中国に残るのはもったいない」と言われ、日本に留学することにしました。日本に留学してから、日本の印象を再認識し、日本に移住しようとするようになりました。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

大学に進学する際に面接があることに驚きました。中国の大学進学の流れは全国統一大学入試があり、その点数の順位によって決まります。日本よりも速いと感じました。また、就職活動について中国にいる友達に尋ねたところ、中国の新卒面接は約10分くらいで終わるそうです。日本では10分で終わるのはちょっと不安ですね。学習奨励費を受給することで、アルバイトの時間を減らし、就職活動に専念することができました。また、その奨学金を利用して自動車免許の勉強を始めました。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

まず、日本は非英語圏なので、たとえ英語が流暢でも、日本語が話せないと厳しい状況になることがあります。また、初めて海外で生活する方にとっては、全く異なる環境での長期間の生活に対する心の準備が必要です。孤独感を感じることもあるでしょう。さらに、日本の料理が合わない場合もあるため、故郷の料理を学んだり、お土産として持ってくるのも良いアイデアです。ちなみに、現地の料理店や物産店を探すのもおすすめです。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	YUZE	
カナ又は漢字氏名	于澤	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	一回生	
4.学校名	相愛大学	写真 タイトル
5.学種	大学学部	
6.所属研究科・学部等名	人間発達学部 管理栄養学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>子供の頃から、日本の食文化に興味があり、テレビで日本の料理番組を見るのが大好きでした。栄養学への関心が高まり、大人になったら日本で学びたいと思うようになり、進学を目指しました。自国にいる間、日本語をできる限り勉強して、日本に来てからの生活に備えました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>私の目標は、日本の大学で栄養学を学び、卒業後に日本で就職することです。現在は栄養学の基礎を学びつつ、将来役立つ知識を身につけています。あと3年の学生生活を通じて、さらに学びを深め、社会で活かせる力を養いたいと考えています。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>1年生の現在、栄養学の基礎知識や調理実習を学んでいます。授業はグループワーク形式が多く、先生方も丁寧に指導してくれるため、学習意欲が高まっています。これまでの授業はすべて合格しましたが、さらに良い成績を目指して後期も努力していきます。</p>		
<p>(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。</p> <p>学校で「當相敬愛」と「浄土真宗」について学び、日本の文化や宗教をより深く知ることができました。「當相敬愛」の方針に基づく教育から、自分を愛するように他者を敬う大切さを学びました。この経験を通じて、他者を思いやる姿勢を忘れずに生きていきたいと感じています。</p>		

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本での留学を通じて、自分の視野が広がり、物事を多角的に見る大切さを学びました。単一的な考え方ではなく、積極的に挑戦する姿勢が求められることも理解しました。今後もこの学びを活かして、日本での生活やキャリアに取り組みたいです。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

大学生活は忙しく、アルバイトの時間を確保するのが難しかったです。奨学金を受けることで学業に集中することができました。このようなサポートがとてもありがたく、勉強とアルバイトのバランスを取る大切さを実感しました。卒業後は日本の企業での就職を目指しています。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

留学を目指す皆さんには、まず日本語をしっかり勉強し、行きたい大学や就職したい企業の情報を集めることをおすすめします。日本での生活は忙しいですが、計画的に将来を見据えることが大切です。努力すれば、必ず目標に近づけます。頑張ってください！

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	SUN GANGQI	
カナ又は漢字氏名	孫 綱琪	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4年	
4.学校名	大阪国際大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル 大阪城までサイクリング
6.所属研究科・学部等名	国際教養学部	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>中学生から日本のアニメ文化に興味を持ち始め、ずっと日本に来てみたかったです。その後、大学の専攻を日本語にして、日本語勉強の努力をしていました。ちょうどその大学で日本へ留学するプログラムがあったため、せっかく日本語を勉強したから、それに参加し、より日本語能力を高めようと考え、留学することに決めました。大学で日本語と日本文化を色々勉強したため、割と日本の社会について知っていたため、準備したことは得にありませんでしたが、親から留学の許可を得るために、日本語能力試験N1レベル合格の資格を取りました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>時間の経過によって、留学の目標も色々変わりました。最初の目標は結構単純的で、日本人の友だちをたくさん作り、文化交流や好きなアニメ文化を体験して楽しむことでしたが、留学先の短期大学の別科は留学生ばかりのため、なかなか実現することが難しかったです。更に日本での生活費が高かったため、アルバイトをして、アルバイト先での文化交流に務めるようになりました。当時のアルバイト先は日本旅館でしたので、すごく厳しかったです。おかげで、会話する能力が一気に上がりましたし、すごくいい文化体験の経験を得ました。その経験で、日本の観光業に興味を持ち始め、日本の大学を受験し、観光を勉強することにしました。大学に入ってから、将来日本で就職し長期的に過ごすことを目標にしました。色々想像して計画を立てたため、その目標はまだ変わっていません。就職活動を行う際に、アルバイトの休みを取った分のコストと企業説明会に参加する際に経費がかかりますが、学習奨励費制度のお陰で、生活に支障を与えずに、就職活動をスムーズに終わらせることができました。現時点は第一希望の企業から内定をいただき、未来を楽しみしています。</p>		

(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。

学校では主に観光業の知識について勉強していました。それ以外に、自分の趣味で経済学の知識、そして学芸員資格を取ることに努力しました。学習環境は充実していて、すごく満足でした。先生が優しく、学習だけではなく、生活にも色々関心を持っていただきました。図書館は小さいですが、学習するスペースが広がったです。そして図書館おすすめの本のコーナーが設置してあり、何回行っても飽きないといえます。そして就職の指導もしっかりしていて、そのお陰で、就職活動をととてもスムーズに終わることができました。それ以外に英会話の練習や地元の子供やお年寄りと交流できる地域連携などのボランティアに参加し、すごく鮮やかな大学生活を送らせてもらいました。学校の授業はほとんど欠席がなく、GPAは3.3/4.0ぐらいです。

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

最初は、日本人とのコミュニケーションがとても難しかったです。N1があっても、会話する能力はほとんどなく、更に文化の違いも存在しているため、お互い誤解や勘違いすることは頻繁に発生しました。特にアルバイト先の旅館の女将さんが厳しくて、仕事を完成させるために、嫌でもその誤解と直面しなければなりませんでした。おかげで、相手と友達のようになり、よりネイティブの日本語の話し方と日本文化への理解を深めることができました。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本への留学経験は、今まで見たことのない世界を体験し、想像したことのない未来へ発展していく選択しを得ることができました。最初はやはりどちらかと言うと、母国で就職したかったが、日本に滞在する時間が増えることによって、日本の常識をだんだんと受け入れ、それこそ常識だと考えるようになりました。更に学習奨励費の制度で就職活動にかかるコストがとても低くなりましたし、日本の労働環境も良いため、日本で就職し、長く生活しても悪くないと思えるようになりました。そして日本で様々なアルバイトをしたため、サービス業と小売業での仕事経験を積み上げ、その経験と自分のアイデンティティを活かせるところで仕事したいと思いましたので、それを中心に就職活動を行いました。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

日本で就職活動を行うには、まず早めに行動する必要があります。自分の国では、大学卒業の直前に就職活動を始まったり、長期間のインターンシップに参加したりすることが普通だが、日本では、三年生の後期からののが普通で、早いのは前期からすでに

就職活動を始まる人もいます。遅くなるとすごく不利になりがちなので、注意したほうが良いと思います。そして、企業探すときに、企業分析と自己分析をしっかりとやるのが大事です。企業の需要と自分が持っているスキルをしっかりとマッチしないと採用されることが難しいです。インターンシップを積極的に参加することは企業分析と自己分析を行ういい手段です。日本のインターンシップは1日から3日ぐらいの短い期間のものが普通ですが、必ず企業の詳しい情報の説明が行われます。たくさん参加し、いろんな企業を比べたうえで判断したほうが良いです。最後、大学のキャリアサポートセンターを積極的に利用しましょう。留学生はエントリーシートの記入や面接にこまることが多いが、キャリアサポートセンターでしっかり指導と練習を受けることができるので、利用しないと損になります。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本に留学している間、アニメの舞台になる景色や話題になっているスポットを巡ることができます。異文化交流、スポーツ、バンド活動など多彩な部活を大学で体験することができます。日本のアニメ好きな方、日本の文化、社会に興味を持っている方はぜひ自分の目で見てください。日本で生活するには、最初はカルチャーショックを受けて少しつらいかもしれませんが、ここでの生活はきっと人生の貴重な経験になると信じています。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	RAMIM MD MEHEDI HASAN	
カナ又は漢字氏名	ラミムエムディメヘディハサン	
2.出身国又は地域	バングラデシュ	
3.学年	1	
4.学校名	大和大学	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	政治経済学部 グローバルビジネス学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>アニメ好きの私は初めて高校の時留学することを考えました。日本に留学することを決心した理由は、いくつかの要素が重なった結果です。まず第一に、日本の文化に強く魅了されたことがきっかけです。幼い頃から、アニメやマンガを通じて日本のユニークな文化や考え方に触れる機会が多く、これらに深い興味を持ちました。日本の伝統的な美術や音楽、さらには現代的なテクノロジーの発展に至るまで、全てが私の好奇心を刺激し、もっと学びたいという思いが強くなりました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>自分の国の経済に貢献したいという目標を果たすために大和大学入学しました。まだ現時点まで到達するのは早いですが、これからもっと頑張りたいと思っています。自分のコミュニケーションスキルやいろんなスキルを身に付けたいと思います。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>今までは授業をけっこう楽しんでます。グループワークなどがあってもっと日本人の友達を作ることができました。日本の文化にのっと触れることができ日本留学を楽しんでいます。先生たちも学生も優しいのであまり困ったこともなくていつでも頼りになれることができます。これからもデータサイエンスやプログラミングなどの勉強ももっとしたいと思っています。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験(日本人学生や地域の人との交流など)と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

日本の文化とアニメに興味があったからこそ日本への留学を考えました。日本の文化は長い歴史と豊かな伝説を持っていると思います。日本人の友達を作りながらもっと日本の文化に触れれたと感じます。日本語は難しいですが面白いです。漢字を学ぶのに一番苦労しましたが、ある程度の漢字はかけるようになりました。これからもっと日本語の勉強を進めていきたいと思っています。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路(キャリア)へどのような影響を与えるか教えてください。

日本へ留学することで世界を見る視点が変わってきたと思います。自分の国と日本にはたくさん文化の違いがあります。日本へ留学してから自分の知識の幅が広がったことに気が付きました。これから自分のキャリアをビルドするために様々な知識が必要だと思っています。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本は世界で最も安全な国の一つであり、日本人は最も優しい国民だと思います。確かにまだ不景気な状態は続いているのですが、これからよくなるだと信頼しています。勉強の場面では日本の大学や専門学校など、学生を最も大切に対応してくれています。困ったときはいつでも頼れる人々が多いと思います。ぜひ留学を考えている皆様は日本のことを調べてもらったほうがいいと思います。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	PHAM HONG SON	非公開
カナ又は漢字氏名	ファム ホン ソン	
2.出身国又は地域	ベトナム	
3.学年	4	
4.学校名	四国大学	写真 タイトル
5.学種	大学学部	
6.所属研究科・学部等名	経営情報学部メディア情報学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>以前、私はベトナムで大学に通い、卒業後は社会経験を積むために2年間働いていました。しかし、2年間の勤務を経て、自分の当時の知識ではまだ十分ではないと感じたため、さらなる知識の向上と、将来に役立つスキルを身につけるために第二言語を学びたいと思いました。そして、日本を選んだ理由は、日本は非常に発展しており、最先端の技術においても先駆者だからです。そのため、私は留学先として日本を選びました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>私が日本での留学で掲げた目標は、プログラミングの知識を深め、AIとブロックチェーンという二つの専門分野を学ぶことです。現在、私はAIの分野において、四国大学のためにインテリジェントなチャットボットを作成するプロジェクトに参加しており、AIに関する知識を探求するという目標はほぼ達成できたと感じています。もう一つの専門分野であるブロックチェーンについては、ブロックチェーン技術の活用には習熟しましたが、ブロックチェーンアプリケーションの開発という専門的な部分については、現在まだ学んでいる途中です。卒業までに、自分の初めてのブロックチェーンアプリケーションを作成できることを期待しています。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>学校の授業については、自分の専攻分野の基礎知識はかなり十分に身につけられていると感じていますが、専門的な知識に関しては少なく、主に自分で調べて学ぶ必要があります。学習環境はとても良く、特に設備が生徒向けに充実していて、図書館も新しい書籍や資料が学習のために頻繁に更新されています。私の成績については、初年度は母国語以外の言語での学習に慣れていなかったため高くはありませんでしたが、最近では慣れてきたおかげで、GPAも以前より大幅に上がっています。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

日本に来てから5年以上が経ち、その間に多くの日本人と出会い、交流し、仕事をしたり、さまざまな祭りや日本の伝統的な風習を体験する機会がありました。これらの経験を通じて、私は多くのことを学び、大きく成長したと感じています。具体的には、日本の人々は非常に礼儀正しく、挨拶や感謝の言葉を日常的に使うのが当たり前です。また、日本人は会話や他者への対応において、できるだけ相手を不快にさせないよう配慮し、仕事においても個人よりもチームや全体の利益を優先して考える姿勢が強く感じられます。さらに、日本人は伝統を非常に大切にし、積極的に地域の古い習慣を守り続けています。例えば、徳島県では、阿波踊りが今でも若者によって学校やクラブで練習され、受け継がれています。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本への留学は、私が日本人の仕事のスタイルや人間関係の築き方がとても好きだということに気づかせてくれました。留学を通じて、日本に残り、将来のキャリアを築くための架け橋となるかもしれません。そして、これは自分にとって正しい選択だと信じています。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学に関する経験について教えてください。また、就職活動や進学に関する経験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

ベトナムでは、私は以前大学で学び、2年間働いた経験がありますが、現在は就職活動を終え、ベトナムと日本の間にはいくつかの大きな違いがあることに気付きました。ベトナムでは、ほとんどの学生は卒業後に就職活動を始め、卒業証書を取得してから仕事を探しますが、日本ではほとんどの学生が卒業前に内定を得ており、卒業後すぐに就職します。そのため、ベトナムでは卒業後に仕事を探し始めるのに対し、日本では卒業前に就職が決まっていることが多いです。さらに、日本の大学では、教師や学校が学生に対して就職活動をサポートし、かなりの配慮をしてくれますが、ベトナムの大学では、学生は自分で就職活動をしなければならない、学校はほとんどサポートをしていないという点も大きな違いです。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本への留学を考えている皆さんへのメッセージとして、もし日本の大学や専門学校に入学したいのであれば、まずは日本語をしっかりと学ぶことをお勧めします。日本語が上達すれば、実際に日本に来たとき、ほとんどのことがずっと楽になるでしょう。さらに、日本に来て学校で学ぶだけでは非常にもったいないことです。自分を挑戦させるためにアルバイトをしてみたり、伝統的な祭りに参加してみたり、まだ行ったことのない場所に足を運んでみたりしてください。そのような経験を通じて、学校で学ぶこと以上に多くのことを学び、成長できるはずです。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	AN KYUMIN	非公開
カナ又は漢字氏名	アン・ギユミン	
2.出身国又は地域	韓国	
3.学年	1年生	
4.学校名	西南学院大学	写真 タイトル
5.学種	大学学部	
6.所属研究科・学部等名	法学部・法律学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>ただ外国語が上手になりたいという気持ちで日本語の勉強を始めました。最初は日本留学ではなくJLPT資格証を取るために勉強していましたが、同じ学校の友達が日本留学を準備しているのを見て私も挑戦してみたいと思い、日本留学をすることを決めました。また、学習奨励費の予約者となったことで経済的な不安も少なくなり、留学を前向きに考えることができました。留学前にはEJU試験に挑戦しましたが、EJU試験を準備するにおいて聴解が弱点でした。それでバスや地下鉄のような交通手段を利用する時、日本のニュースを視聴しながら聴解の実力を伸ばして行きました。学習奨励費の受給が決まった後も、入学までその勉強方法を継続しました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>法学という学問はとても難しい学問なので、無事に卒業することが第一の目標です。学習奨励費の受給により、アルバイトの時間を削減でき、勉強に集中できています。そして日本で就職して日本での社会生活を体験しながらキャリアを作っていきたいと思います。現時点で目標をどのくらい達成したかということ、目標に向かって進んでいる状態だと言いたいです。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>西南学院大学の法律学科1年生は、前期に専攻科目として法律学の基礎を受講し、後期に法学概論や憲法と民法を受講しています。授業が非常に体系的に行われていると感じています。学習環境もとても快適で、単位を落とすことなく1年生の前期を終えることができました。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域のひととの交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

基礎演習の授業でディベートを経験したことが一番記憶に残っています。最初は日本語で意思疎通をするのが大変でしたが継続的な練習の結果、コミュニケーション力が伸びました。また、グループ活動では日本のコミュニケーション方法と文化を学びました。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本での留学は私のキャリアに大きな影響を与えてくれると思います。日本の法律を直接学び、体験するので、この経験は日本と韓国の間で法律だけではなく様々な分野で貢献する基盤になると思います。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学に関する経験について教えてください。また、就職活動や進学に関する経験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

留学は新しい文化や人々と出会いながら自分を成長させることができる良い機会だと思います。海外で生活するというにはいろいろな困難もありますが、自分にとってプラスになる経験の方が多いです。日本留学は、皆さんの夢を叶えることに役に立つチャンスです！

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	HE YISHANG	未公開
カナ又は漢字氏名	カ イシヨウ	
2.出身国又は地域	中国	
3.学年	4	
4.学校名	長崎総合科学大学	写真 タイトル
5.学種	大学学部	
6.所属研究科・学部等名	総合情報学部	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>日本語や日本文化に興味がある。日本で色々経験し、視野を広げるため留学を決めました。日本留学を決めてからは日本語学習に力を入れました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>日本語学習につきましては、現在日本語能力試験 2 級に合格しました。2025 年度には必ず 1 級に合格したいと思います。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>現在 4 年生なので担当教授下で研究に力を入れている。学習環境はとても静かで集中しやすく、学習成績も GPA3.1 に到達しています。</p>		
<p>(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。</p> <p>最初は日常生活の会話でも苦労しましたが、大学のグループワーク学習、アルバイトの経験など通して、日本語実践能力は高くなっています。また、コンビニエンスストアでのアルバイトでは接客サービス業の接客用語なども覚え、更に日本の文化を理解することができました。また、言語だけではなく、論理的な思考力を身についたと思います。</p>		

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

多言語と専門知識を行かせて、世界に進出している企業に就職できると思います。学部卒業したら、大学院に進学し、専門知識を深く研究し日本で就職したいと思います。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本への留学は、語学の学習だけではなく、文化などを通して、価値観変化などの貴重な経験をすることができます。是非留学を通して国際的視野を広げ、国際舞台でのご活躍を期待してください。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	N.T.	非公開
カナ又は漢字氏名	非公開	
2.出身国又は地域	タイ	
3.学年	3	
4.学校名	非公開	
5.学種	大学学部	写真 タイトル
6.所属研究科・学部等名	国際キャリア学部国際キャリア学科	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>私は日本文化や料理、アニメに興味があり、高校卒業後に日本へ留学することを決めました。高校時代には日本語を第二言語として学び、言葉だけでなく文化についても理解を深める準備をしました。この経験が、日本での生活や学びに大いに役立っています。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>私の目標は、日本語を流暢に話せるようになることと、たくさん友達を作ることでした。最初は言語の壁が高く、コミュニケーションが難しかったのですが、日本人の友達が話しかけてくれたり、優しく日本語を教えてくれたりしたおかげで、少しずつ自信が持てるようになりました。今では自分から積極的に話しかけられるようになり、たくさんの友達を作ることができました。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>学校では、主に英語を勉強しており、ネイティブスピーカーの先生が授業を行っているため、とても楽しく学んでいます。放課後は学校の図書館や自習スペースで勉強するのが好きで、静かな環境で集中することで、リスニング、スピーキング、ライティングのスキルを効果的に向上させることができました。この学習環境が、私の成績向上にも大いに貢献しています。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験（日本人学生や地域の人との交流など）と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

最近、地域の人々と交流し、茶道に参加したり、日本の伝統楽器を演奏したりする体験をしました。とても楽しく、貴重な経験でした。この活動を通じて学んだことは二つあります。まず一つ目は、コミュニケーション能力です。相手を意識しながら、より伝わりやすいように話す方法を学びました。二つ目は、異文化理解です。日本の伝統や文化に直接触れることで、地域の人々の生活や社会について深く理解することができました。これらの経験は、私にとって大きな成長につながりました。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路（キャリア）へどのような影響を与えるか教えてください。

日本での留学は、異文化の中で生活し学ぶ貴重な経験です。この経験を通じて、多様な価値観や考え方を理解する力が養われ、国際的な視点を持つことができるようになります。これにより、将来的には広い視野を持った人材として、グローバルな環境でも活躍できるようなキャリアを築いていきたいと考えています。留学で得た視点やスキルは、今後の進路に大きな影響を与えると確信しています。

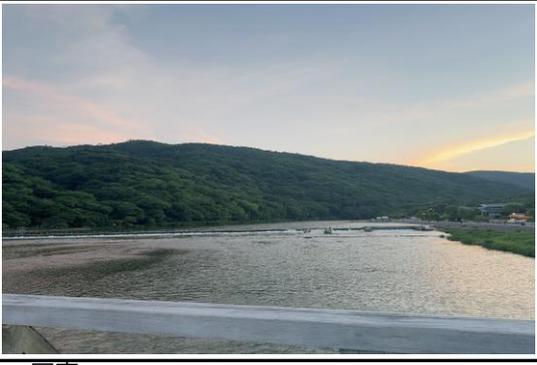
(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学に関する経験について教えてください。また、就職活動や進学に関する経験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

これから就職活動を始めるので、現時点では特にありません。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本への留学は、学びや成長の貴重な機会です。留学準備では、日本語の基礎力を身につけ、ビザや書類手続きを早めに進めることが重要です。現地では、積極的に人と交流し、学業だけでなく課外活動にも挑戦することで充実した生活を送れます。また、就職活動ではキャリアセンターやイベントを活用し、日本の文化やマナーを理解することが大切です。困難もあるかもしれませんが、それを乗り越えることで自分自身を大きく成長させることができるでしょう。

文部科学省外国人留学生学習奨励費受給者留学報告書

1.アルファベット氏名	NWAYOO HLAING	
カナ又は漢字氏名	ヌエーウーライン	
2.出身国又は地域	ミャンマー	
3.学年	2年生	
4.学校名	池坊短期大学	
5.学種	短期大学	写真 タイトル 自然と美しい嵐山の景色
6.所属研究科・学部等名	環境文化学科、国際経営情報コース	
7.学習奨励費受給期間	開始年月 20 24 年 4 月 ~ 終了年月 20 25 年 3 月	
<p>(1) (必須) 日本へ留学するきっかけや、準備したことなどを教えてください。</p> <p>母国での大学卒業後に何かの言語を学ぼうと思って日本語学校に通いました。留学のつもりで通ったのではなかったのですが、その時先生に教えてもらった日本人の相手に対しての思いやりやいたわり、また、仕事への責任感や時間を大切にすることなどに憧れ、留学先を日本に決め、一生懸命日本語を勉強しました。</p>		
<p>(2) (必須) 日本での留学の目標と、その目標が現時点でどのくらい達成できたか教えてください。</p> <p>日本人の仕事のやり方や思いやりに憧れた私は、いつか日本の会社で仕事ができるようになると目標を設定しました。それで日本語学校と短期大学で四年間過ごして、今は就職も決まり、思ったように来年の四月から日本の会社で働けるようになります。</p>		
<p>(3) (必須) 学校での授業内容、学習環境、成績などについて教えてください。</p> <p>授業内容については日本の文化である生け花と茶道の勉強もできて、入社時に役に立つビジネスの知識も身につけられました。さらにホスピタリティやおもてなしまで勉強できたことも役に立つと思います。</p> <p>学習環境は京都に中心にあり、交通も便利で学校の周りに歴史的各所もたくさんあります。授業内容も面白いし学習環境もいいから勉強に集中できて、いい成績も取ることができました。</p>		

(4) (必須) 日本の文化や言語に触れた経験や挑戦したこと、または日本での交流体験(日本人学生や地域の人との交流など)と、それによって学んだことや成長したと思うことを教えてください。

祇園祭りで学校の山鉾巡行に曳き初めに参加したり、生け花の花展で花を生けて展示したりしたことがあります。そうすることで日本の文化に触れることができ、日本に前より興味を持ちました。

(5) (必須) 日本への留学が、今後のあなたの進路(キャリア)へどのような影響を与えるか教えてください。

日本への留学のおかげで将来の道もはっきり見えるようになり、自分の理想となる生活も送ることができました。

(6) (ある場合のみ) 日本での就職活動や進学の実験について教えてください。また、就職活動や進学の実験の中で、自分の国との違いについて感じたことがあれば教えてください。

進学については母国と違うところがありませんが、就職活動については国でそんな制度がないので面白いと思いました。国では卒業するまでは就職活動ができません。しかし、日本では一年生の時から早々と就職活動をしてないと卒業後は迷子になってしまいます。

(7) (必須) 日本への留学を考えている人へのメッセージをください。

日本へ来るまでに日本語や日本の文化をしっかりと勉強してきた方がいいとおもいます。そうすると自分の夢の道にスムーズに歩むことができ日本での生活はより楽しくなります。